

お知らせ

こらぼ IT カフェ

令和6年度
大田区区民活動団体
レベルアップ講座

自分だけでパソコンやスマホ操作をしていて、困ったことが起きても・・・
近くに聞ける人がいなくて、分からないまま・・・
なんてことはありませんか？

「こらぼ IT カフェ」を開催します！

参加者同士で教え合い、情報交換しながら、
みんなでスキルアップしよう！

開催日：7月19日（金）12:30～15:00

場所：こらぼ大森 2階多目的室

申し込み不要／参加無料

※貸出用のパソコン（事前予約要）有

※飲み物の持ち込み OK！

カプセルコーヒーマシン（有料）もあります

★プチ講座★(IT カフェ内で開催)

7月19日（金）13:30～14:00

[テーマ：スマホの危険性]

- ・最近の詐欺の手口について
- ・その URL は大丈夫？
- ・QR コードを読むときも慎重に・・・

CAFE おーろく OH!ROCK

ご近所に集まれる場所がない、
ちょっと体操がしたいな、
誰かと話したいな、そんな時に誰でも
ふらっと立ち寄れるカフェです。

開催日：毎月第一水曜日

時間：10:00～16:00(変更することもあります)
(7/3(水)は12:30～)

場所：こらぼ大森 2階多目的室

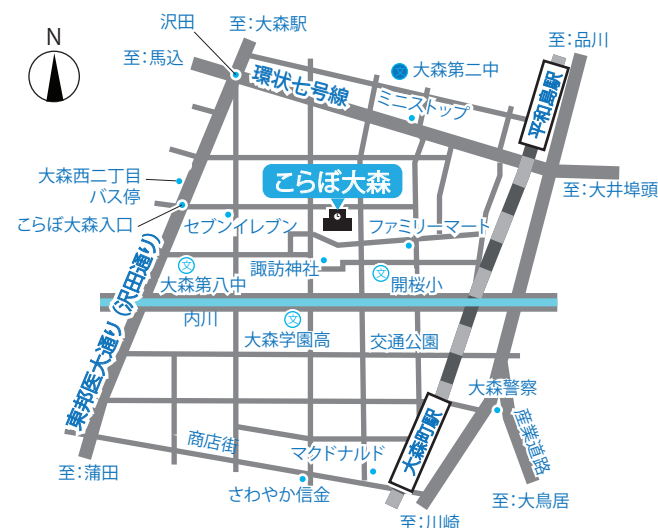
参加無料、飲食可（持ち込み可）

★CAFE おーろく・ミニイベントも企画

- ・14:00～スタッフとの健康体操
- ・ちょっとしたスマホの相談



お問い合わせ：区民活動支援施設大森（こらぼ大森）情報交流室
〒143-0015 大田区大森西 2-16-2 TEL&FAX 03-5753-6560



発行者 齋藤 十四男

発行日 2024年7月1日



大田区区民活動支援施設大森 こらぼ大森

住所 〒143-0015 大田区大森西 2-16-2

電話 03-5753-6616

URL <http://collabo-ohmori.com/>

ホームページ QR コード▶



2024 夏



おいでよ

collaboのこらぼ

季刊誌 vol.51

人と人とのつながりを大切に 笑顔がかがやく地域をつくる



特集：多様性社会の実現に向けて

おおたユニバーサル駅伝開催	 2P
区役所本庁舎売店にて分身ロボットが活躍	 3P
災害ボランティアについて知ろう	 4～5P
ソシオ大森紹介	 6P
平和祈念写真展を開催 ほか	 7P
こらぼ IT カフェ /CAFE おーろく	 8P

発行

大田区区民活動支援施設大森 こらぼ大森

特集 多様性社会の実現に向けて 違いを認め合い、思いやりの心を おおたユニバーサル駅伝大会が開催されました

今回で 17 回目を迎える「おおたユニバーサル駅伝大会」が平和の森公園で 6 月 2 日（日）に開催されました。

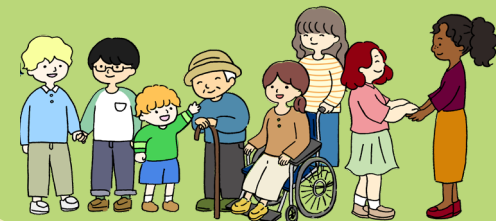
当日は雨天が予想されていましたがスタート時には日が射し絶好のユニバーサル駅伝日和となりました。今年は 20 チーム、約 200 名が参加しました。競技参加者は、多様な立場の人が 5 人 1 組となるようにチームに分かれ

ます。各チームはスタート前に、上り下りのある一周約 1 キロのコースを歩き、お互いの身体状況や意向を理解し合いながら目標タイムを決め、そのタイムでゴールする事を目指しました。参加者の皆さんは、この日初めて顔合わせしたチームメイトと、競技を通じて「支え合う心地よさ」を感じられたようでした。

主催：NPO 法人ジャパンユニバーサルスポーツ・ネットワーク、おおたユニバーサル駅伝大会実行委員会
共催：大田区、学校法人衛生学園東京衛生学園専門学校、NPO 法人おおた市民活動推進機構



ユニバーサル駅伝とは？



ユニバーサル駅伝とは、小学生・60 歳以上の方・視覚障がい者・車いす使用者・フリースタイル（聴覚・知的・精神障がいの方、他どなたでも）の方が 5 人 1 組で 1 チームを編成し、大学生等のチームマネージャーや、中高生の伴走サポーターと一緒にたすきをつなぐ駅伝競技です。

多様な人の働き方をサポート 区役所本庁舎売店にて分身ロボットが活躍

大田区役所本庁舎 1 階の「おおむすび区役所縁市場」（大田区内の障がい者施設で制作された逸品を販売する売店）では、今年度 4 月から、分身ロボット OriHime（以下「オリヒメ」）が販売員としてお手伝いしています。分身ロボット「オリヒメ」は、外出が困難な方々が

遠隔地から社会活動に参加するためのロボットで、本事業では、「NPO 法人どこでもオリヒメ」が全国の障害のある方々が販売員として活躍するためのコーディネートを行っています。



クッキーや装飾品などを販売しています



「オリヒメ」も活躍しています！

滋賀県守山市の自宅から販売員として活躍

取材当日は、滋賀県守山市から田中茜更（あかり）さんが「オリヒメ」のパイロット（操縦役）として、元気に接客しながら、お菓子やアクセサリーなどを販売していました。田中さんは、脊髄性筋萎縮症という難病で、人工呼吸器を使用して生活しています。気管切開をし

ていて声が出せないため、パソコンなどを使い、視線で文字を入力し、それを受けたオリヒメが「こんにちは」などと動作を交えて発声します。田中さんは、自宅で体調をケアしながら、社会と繋がりコミュニケーションできることを、とても喜んでおられました。

活動に関する問い合わせ先

◆NPO 法人どこでもオリヒメ
「NPO 法人どこでもオリヒメ」では、活動のお手伝いをしていただける方を募集しています。
ご興味のある方は、下記までお問合せください。

facebook：https://www.facebook.com/DokoOriOta/
Email：doko.ori.ota@gmail.com

◆「おおむすび縁市場」出店予定日などの情報
おおむすび連絡会ウェブサイト

https://ootaseisanren.org/exhibit/



分身ロボット OriHime



災害ボランティアについて知ろう！

―被災地の現状と災害ボランティアの基礎知識―

能登半島地震発生から6カ月が経過しました。前号に引き続き、能登半島地震に関わる支援の情報と災害ボランティアを行う上で必要な基礎知識についてお伝えします。

能登半島地震の災害ボランティア受け入れ状況

震災から6か月を経た奥能登では、断水などの影響により活動に制限がありますが、ボランティア活動が行われるようになりました。（6月上旬の状況）被災地における各市町村の災害ボランティアセンターのウェブサイトなどで、ボランティアの募集状況をお知らせしています。活動内容は、家の片付けや壊れたブロック塀の片付けなどが多いようですが、仮設住宅の完成に伴って、引っ越し支援など求められるようになってきました。



災害ボランティア活動のイメージ

災害ボランティアとは？

大雨、地震、津波によって、傷ついた地域に暮らす人々の安心した生活を取り戻すために、全国各地から災害ボランティアが駆けつけ、片付けや被災された方の心のケアなど、多様なお手伝いを行います。発災後の時間経過や被災された方のニーズに合わせて、家財等の片付け、炊き出し、心のケア、引っ越し支援など様々な活動があります。

ボランティアの服装



災害ボランティア参加の手順

一般に、被災地でボランティア活動を行う場合は、被災地の災害ボランティアセンターを通じて行います。能登半島地震では、「石川県災害ボランティア情報特設サイト」（下記ウェブサイト参照）にて災害ボランティアの事前登録を求めるケースが多いようです。

石川県災害ボランティ
ア情報特設サイト
<https://prefvc-ishikawa.jimdofree.com/>

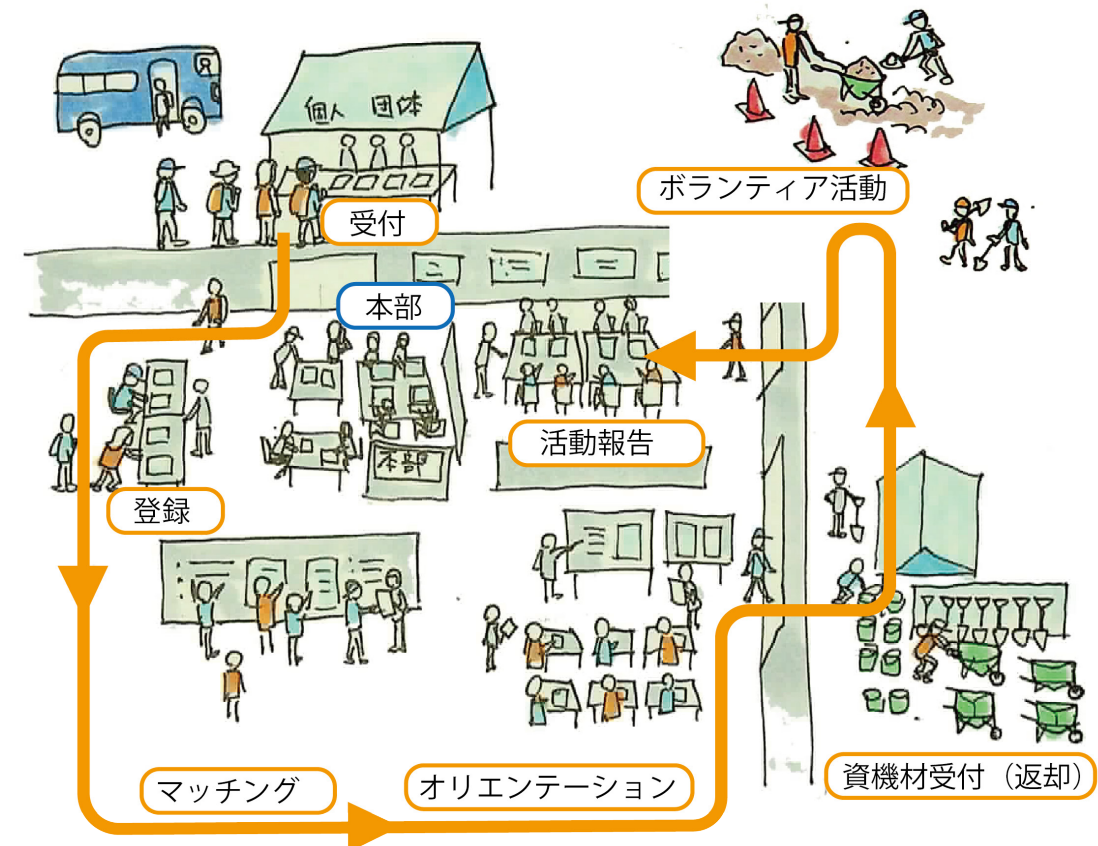


災害ボランティア参加の手順

- ▶ 現地の情報収集（各市町村の行政や災害ボランティアセンターなどの情報）
- ▶ 受け入れ窓口へのアクセス（災害ボランティアセンター）
- ▶ 交通手段や宿泊先の確保
- ▶ 装備の準備・確認
- ▶ ボランティア保険（天災コース）への加入（居住地の社会福祉協議会などで手続き）

災害ボランティアセンターの一日

ボランティアを行う際は、被災地の災害ボランティアセンターで受付を行い（事前に予約等が必要なケースもあります）、その後、マッチング、オリエンテーションを経て現地での活動を行い、活動後に活動報告を行うという流れが一般的です。



【以上 情報提供・協力：畠山朋也氏（岩手県住田町社会福祉協議会）】

大田区社会福祉協議会の災害ボランティアに関する取り組み例

大田区社会福祉協議会でも災害ボランティア活動をするときの準備、大田区災害ボランティアバンクへの登録、災害ボランティア応援助成などの案内を行っています。

◆大田区災害ボランティアバンク

大田区における災害時、災害ボランティアセンターを開設する際等に、登録ボランティアに参集につき案内されるしくみです。（平時には、災害ボランティアについて学べる講座や訓練について案内されます）

◆災害ボランティア応援助成

災害救助法が適用された被災地（東京23区以外）において災害ボランティア活動を行う大田区民に対し、現地までの交通費等の一部を助成する事業です。

詳しくは、大田区社会福祉協議会災害ボランティア活動に関するウェブサイトをご覧ください。
<https://www.ota-shakyo.jp/service/05/saigaichi>



ソシオ大森活動紹介

ソシオ大森（総合型地域スポーツクラブ）では、ボッチャ、バドミントン、カーレット、ハイキングなど、健康づくりを目的とした様々な活動をしています。

第2木曜日は「レッツトライ」

5月9日（木）には、第二木曜日の活動として新たに始まった「レッツトライ」の活動が行われました。「レッツトライ」では、楽しく健康づくりを続けることを重点においたプログラムが重視されています。この日は、音楽に合わせて、楽しく体を動かせる「荒川ころばん体操」やマットを使った「スクエアステップ」の運動プログラムが行われました。



スクエアステップの様子

春のハイキング ―千葉県金谷地区―

4月21日（日）、ソシオ大森のハイキング事業で、千葉県金谷地区に行きました。金谷地区は、石切り場跡が残る鋸山や海辺の風景が魅力のまちです。当日平和島に集合した参加者の皆さんは、久里浜からフェリーで金谷港に移動し、町なかハイキングなどを楽しみました。その後は、ベイサイドマーケット＆レストランでランチや買い物を楽しみました。



金谷港でフェリーのお見送り

こらぼ大森の体操紹介

毎月第3、4、5週の木曜日には、地域のシニアの方々を対象とした健康づくりの活動が行われています。

よんもく体操

毎月第四木曜日は、蒲田リハビリテーション病院監修の筋力アッププログラムを行っています。4月25日（木）は荒木達也先生の指導のもと、バランス、歩行、椅子を使った立ち座り、脳トレなどを実施しました。



歩行を計測する様子

平和祈念写真展を開催しました！

4月12日（金）～14日（日）

次の世代に戦争の記憶と平和を願う心を受け継いでゆくことを大切にしたい、との思いから始まった「平和祈念写真展」も今年で10回目となりました。

今回は、郷土博物館、昭和館（国立施設）からの展示品のほか、その当時大森2丁目（現大森西）にお住いの方から貴重な写真や資料

を多数ご提供いただきました。

また、こらぼ企画として平和な今だからこそ共に笑える「平和寄席」と公民連携事業として明治安田生命保険相互会社さんによる「血管年齢測定会」「野菜摂取充足度調査」の催しを同時開催し、多くの方にご参加いただいています。



写真展会場



「平和寄席」会場

「こらぼ大森」を支えて20年

NPO 法人大森コラボレーション

区民活動支援施設大森「こらぼ大森」を支えて、今年で20周年を迎えます。

NPO 法人大森コラボレーションの設立20周年記念行事を6月23日（日）に開催しました。新たな複合施設整備に伴い伐採された桜の木を使った、記念品（木製コースター）

づくりや、将来の大森西のまちづくりをイメージした「未来予想図」（表紙参照）づくりを進めています。「未来予想図」を囲んで地域の方々が、地域の将来について語り合うことで、豊かな地域づくりに繋がるのではと考えています。



思い出の桜の木



旧大森第六小学校の桜の木でつくったコースター